

第4回ごみ減量検定 正解と解説

1月27日発行のサイチョプレス vol.15では「第4回 ごみ減量検定」として問題を掲載し、回答を募集しました。今回は検定問題について、正解の発表と解説をします。回答を提出した方は自己採点をしてみてください。回答を提出していない方もぜひ問題に挑戦してみてください!

回答を提出した方へ 検定に取り組んでいただきありがとうございました!

18問以上正解した方は合格者として、「ごみ減量マスター」の認定証をお送りします。また、合格者の中から抽選で2,000名様に記念品として「サイチョレジカご用バッグ」を差し上げます。

合格者、記念品の抽選結果の発表は、認定証・記念品の発送をもってかえさせていただきます(3月下旬予定)。採点結果に関するお問い合わせは受け付けません。

色は選べません



問題 1 「プラスチック製容器包装」に出してよいものはどれ?

1. プラスチック製のパケツ
2. プラスチック製のスナック菓子の袋
3. 紙製のカップめん容器
4. プラスチック製のプランター



正解:2 2以外は、中身を使い切ったり、取り出した時に不要となるプラスチック製の容器や包装ではないため、「プラスチック製容器包装」に出す事ができません。プラスチック製の製品、紙製のカップめん容器は「燃やすごみ(普通ごみ)」で出してください。

問題 2 お菓子の紙箱の出し方で正しいものはどれ?

1. 適当な束にしばって「枝葉・草」として出す
2. 透明のポリ袋に入れて「古紙類」として出す
3. 「飲食用缶」として出す
4. 「有害・危険物」として出す



正解:2 お菓子の紙箱や紙袋、封筒などは雑紙(ざつがみ)として「古紙類」に出す事ができます。雑紙は大きさや形が様々なため分別されずに「燃やすごみ(普通ごみ)」として多く出されています。きちんと分別する事でごみをまだまだ減らす事ができます。

問題 3 市内8ヶ所で行っている「古布・古着」の拠点回収への出し方で適切でないものはどれ?

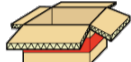
1. 段ボール箱に入れてふたをして出す
2. 透明のポリ袋に入れて出す
3. まとめて紐でしばって出す
4. 半透明のポリ袋に入れて出す



正解:1 「古布・古着」は透明・半透明のポリ袋に入れるか、もしくはまとめて紐でしばって回収場所に持ち込んでください。回収された衣類はリユース(再利用)されるため、濡れたもの、汚れや破れがあるもの、穴の開いたものは出す事ができません。

問題 4 「古紙類」の出し方で間違っているものはどれ?

1. 新聞とチラシを一緒に出す
2. トイレトペーパーの芯を雑誌・雑紙(ざつがみ)として出す
3. 段ボールは折りたたまず、そのまま出す
4. 紙パックは水洗いして切り開き、乾燥させて出す



正解:3 段ボールは折りたたんで、紐で十文字でしばって出してください。

問題 5 平成24年6月から始まった「使用済小型家電」の拠点回収。その回収ボックスに入れてはいけないものはどれ?

1. デジタルカメラ
2. 携帯ゲーム機
3. 蛍光管
4. 携帯電話



正解:3 回収する使用済小型家電は、電気・電池で動き回収ボックスに投入できる大きさ(概ね縦15cm×横35cm×奥行20cm以下)のものです。ただし、家電リサイクル法対象品目(テレビなど)、パソコン(本体・ディスプレイ)、電球(燃やさないごみ)、蛍光管・ライター(ともに有害・危険物)は小型家電として回収していませんので、ご注意ください。

問題 6 粗大ごみの出し方として正しいものはどれ?

1. 粗大ごみ受付センターに収集の申し込みをする
2. 各区区民生活課に申し込みをする
3. 粗大ごみの日にごみ集積場に出す
4. 新潟市コールセンターに申し込みをする



正解:1 粗大ごみは、粗大ごみ受付センター(☎025-290-5353)に収集申し込み後に戸別収集されます。申し込み時に料金と収集日をお伝えしますので、収集日当日の午前8時までに「粗大ごみ処理券」を見やすい場所に貼って、排出場所(自宅前など)に出してください。「粗大ごみ処理券」はスーパーマーケット・コンビニエンスストアなどの小売店や区役所・出張所・連絡所で購入できます。

問題 7 市で収集しないものに、家電リサイクル法で定められた4品目があります。その品目に当てはまらないものはどれ?

1. テレビ
2. 冷蔵庫・冷凍庫
3. エアコン
4. 電子レンジ



正解:4 家電リサイクル法ではテレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の4品目を対象としています。消費者はリサイクル料金を負担し、販売店が引き取る事(買い換え時や以前販売した場合)などが法律で義務付けられています。電子レンジは対象外ですので、「粗大ごみ」として出す事ができます。

問題 8 収集日が月2回のごみ・資源はどれ?

1. 燃やすごみ(普通ごみ※)
2. 枝葉・草
3. プラスチック製容器包装
4. ペットボトル ※巻広域



正解:4 「燃やすごみ(普通ごみ)」は週3回、「枝葉・草」(1~2月を除く)は週1回、「プラスチック製容器包装」は週1回、「ペットボトル」は月2回の収集となっています。

問題 9 蛍光管は分別して「有害・危険物」に出すのはどうして?

1. 爆発するから
2. 水銀が入っているから
3. 指定袋に入らないから
4. 燃えないから

正解:2 蛍光管に入っている水銀は少量ですが、「燃やすごみ」に蛍光管など水銀を含むものが多量に混入してしまうと、環境に影響を及ぼしかねないため、焼却炉を停止する事になりかねません。このような事態にならないためにも水銀を含むものは「有害・危険物」として出すをお願いします。

問題 10 「枝葉・草」に出してよいものはどれ?

1. 庭木の枝
2. 造花
3. 枝豆などの野菜くず
4. すだれ



正解:1 「枝葉・草」で出してよいものは、お庭でせん定して不要になった枝、葉、竹、花や雑草などの刈り草になります。それ以外のは「枝葉・草」のリサイクルに支障をきたすため、造花と野菜くずは「燃やすごみ(普通ごみ)」、すだれは「粗大ごみ」で出してください。

問題 11 「使用済小型家電」の回収拠点に出された小型家電はどうなる?

1. 選別・分解され国内でリサイクルに回る
2. 市のごみ処理施設で破砕し埋め立てられる
3. 海外へ輸出される
4. フリーマーケットで売られる



正解:1 市の委託した業者が各拠点から小型家電を回収し、選別・分解、その後部品ごとに精錬業者やリサイクル業者に出荷します。金・銀・銅などの金属や精密機械の部品として有用なレアメタルといった金属は国内で循環し、再利用されます。

問題 12 回収されたプラスチック製容器包装がリサイクルされてできるもので、間違っているものはどれ?

1. ポリ袋
2. 堆肥
3. プランター
4. 固形燃料



正解:2 堆肥化されているのは、「枝葉・草」で回収された庭木の枝などです。「プラスチック製容器包装」は回収された後、人の手により選別され、プラスチックの原料であるペレットとなり、様々なプラスチック製品にリサイクルされます。

問題 13 ごみ袋有料化による手数料収入の使いみちとして間違っているものはどれ?

1. サイチョプレスなど広報紙の発行
2. ごみ集積場の設置補助
3. 自治会・町内会が行う集団資源回収への奨励金
4. ごみ処理施設の建設費



正解:4 ごみの収集やごみ処理施設の建設などの基本的な市民サービスは一般財源により行われています。手数料収入は資源循環社会促進、地球温暖化対策、地域コミュニティの振興などに資する事業を通し、「市民還元事業」として市民の皆様に還元しています。

問題 14 平成24年度に実施した「3Rシティにいがたマイボトルキャンペーン 2012」。配布した「マイボトルライフガイド」の表紙を飾った、新潟が誇るアイドル3人組はどれ?

1. Niigatacco(にいがたっこ)
2. Negicco(ねぎっこ)
3. bottlecco(ぼとるっこ)
4. Ecocco(えこっこ)

正解:2 マイボトルキャンペーンは、繰り返し使えるマイボトルの普及を通して、使い捨て容器の削減と市民・事業者の皆さまのごみ減量意識の向上を図る取り組みです。あなたもお気に入りのマイボトルを見つけて、ちょっとだけエコなマイボトルライフを実践してみませんか。

問題 15 市では様々な資源物の拠点回収を行っていますが、現在拠点回収を行っていないものはどれ?

1. 使用済小型家電
2. 灯油
3. 古紙類
4. 電動生ごみ処理機で乾燥した生ごみ



正解:2 灯油の拠点回収は行っていません。灯油を処理する場合は販売店にご相談ください。市では電動生ごみ処理機で乾燥させた生ごみを拠点回収し堆肥化する事業を行っているほか、古紙類、使用済小型家電、廃天ぷら油、古布・古着も拠点回収を行い資源として有効利用しています。

問題 16 市が行っているごみ減量への取り組みで直接関係がないものはどれ?

1. 広報紙サイチョプレスの発行
2. ごみ減量・リサイクル推進月間
3. ごみダイエット読本の配布
4. 水と土の芸術祭

正解:4 1は、年4回発行の資源とごみの情報紙です。2は、ごみ減量とリサイクル意識の向上を図るため、期間中に啓発事業やごみ集積場の見回りなどを行っています。3は、クリーンにいがた推進員研修会やさわやかトーク宅配便などのごみや資源について学ぶ機会に配布しています。4は、新潟市で開催された芸術祭でごみ減量への取組みとは直接関係はありません。

問題 17 平成24年度から学校給食の調理くずや食べ残しをある動物の飼料(えさ)として活用する事業が開始されました。ある動物とはどれ?

1. アルパカ
2. 豚
3. 馬
4. 犬



正解:2 平成24年6月から調理くずや食べ残しの一部を豚の飼料として活用しています。飼料化は食品が持つ栄養価をそのまま利用できることやコストが低いことから、他の資源化方法よりも優先すべきとされています。

問題 18 新ごみ減量制度(10種13分別※とごみ袋の有料化)が始まったのはいつでしょう?

1. 平成13年1月
2. 平成17年3月
3. 平成20年6月
4. 平成24年6月

※現在巻広域は9種12分別

正解:3 新ごみ減量制度が開始されたのは平成20年6月です。市民の皆様にご協力いただいたおかげで、開始後1年間で家庭ごみは約3割減少しましたが、現在若干増加傾向となっています。さらなるごみ減量に向けて、引き続きごみの減量・分別にご協力をお願いします。

問題 19 「プラスチック製容器包装」に出してよいものはプラスチック製の「容器」や「包装」ですが、この目印となるマークはどれ?

1. PETマーク
2. プラマーク
3. 紙マーク
4. アルミマーク

正解:2 「プラスチック製容器包装」についてのマークはプラマーク(♻️)といい、プラスチック製の容器や包装についています。パケツやおもちゃなどのプラスチック製の商品そのものには付いていません。「プラスチック製容器包装」の分別に迷われたら、プラマークを目印に分別してみてください。



問題 20 「3R」とはリデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)を指しますが、リユースに当てはまるものはどれ?

1. 缶を集めて金属製品に作り替える
2. 食べ残しをしない
3. 落ち葉を集めて堆肥化する
4. びんを洗って繰り返し使う

正解:4 リユースとは一度使用したものをすぐに捨てるのではなく、そのまま何度も使用する事です。1と3はリサイクル(資源として再び利用する)、2はリデュース(ごみを出さない工夫)に当てはまります。「3R」をキーワードに、ごみの少ない社会を作っていきましょう。



みんな正解できたかな? 解説を読んで、実際にごみ減量に挑戦してみよう!

